



高齢者の交通事故発生状況

令和7年3月末

1 高齢者事故の発生状況

令和7年3月末現在の高齢者（65歳以上の人）が死傷した交通事故は、前年と比較して死者数は減少していますが、発生件数及び負傷者数は増加しています。

死傷者の状態別では、四輪車運転中が約5割（151人中68人。45.0%）を占めて最も多く、次いで歩行中が約3割（41人。27.2%）を占めています。

また、高齢者の死者は歩行中（3人。2.0%）と四輪車運転中（2人。1.3%）でした。

【高齢者事故の発生状況】（令和7年3月末速報値）

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件数	死者数	重傷	軽傷	計
本年	138	5	5	38	108	146
前年	131	8	8	38	93	131
増減数	7	-3	-3	0	15	15
増減率	5.3	-37.5	-37.5	0.0	16.1	11.5

【状態別高齢死傷者数】（令和7年3月末速報値）

区分	歩行中	四輪運転	四輪同乗	二輪乗車	自転車	その他	計
死者	3	2					5
構成率	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
重傷者	16	7	5	1	9		38
構成率	42.1	18.4	13.2	2.6	23.7	0.0	100.0
軽傷者	22	59	17	1	9		108
構成率	20.4	54.6	15.7	0.9	8.3	0.0	100.0
死傷者	41	68	22	2	18	0	151
構成率	27.2	45.0	14.6	1.3	11.9	0.0	100.0

2 高齢者事故の発生推移（基礎データ平成27年～令和6年）

全人身交通事故が10年間で56.1%減少（平成27年8,624件→令和6年3,785件。-4,839件）しているところ、高齢者事故は58.0%の減少（平成27年1,313件→令和6年551件。-762件）となっています。

令和6年は、全交通事故死者の約6割（47人中26人。55.3%）を高齢者が占め、本県の高齢化率（※29.5%）を上回りました。

※ 高齢化率＝人口に占める高齢者の割合（令和6年3月31日現在。住民基本台帳より）



区分	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	
高齢者	発生件数	1,313	1,245	1,211	1,081	930	742	654	570	595	551
	死者数	30	29	33	27	22	20	24	18	19	26
	負傷者	1,448	1,363	1,303	1,166	1,011	785	701	596	629	583
全事故	発生件数	8,624	7,986	7,491	6,815	5,675	4,487	4,286	4,117	4,033	3,785
	死者数	66	71	51	56	65	44	42	37	47	47
	負傷者	10,913	10,057	9,353	8,509	6,941	5,483	5,182	4,912	4,932	4,565
構成率	発生件数	15.2	15.6	16.2	15.9	16.4	16.5	15.3	13.8	14.8	14.6
	死者数	45.5	40.8	64.7	48.2	33.8	45.5	57.1	48.6	40.4	55.3
	負傷者	13.3	13.6	13.9	13.7	14.6	14.3	13.5	12.1	12.8	12.8

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

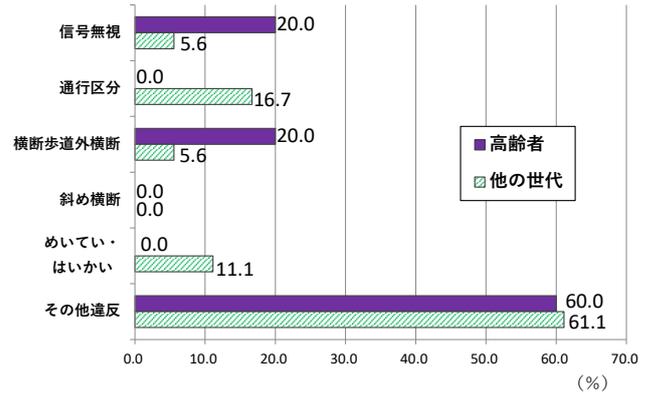
3 高齢者事故の発生特徴等 (基礎データ令和6年3月末速報値)

(1) 歩行中の構成率が他の世代よりも高い

高齢死傷者の状態別で最も多いのは、四輪車運転中(151人中68人、45.0%)でしたが、歩行中についても多く(41人、27.2%)、他の世代の歩行中死傷者(986人中121人、12.3%)と比較すると高い構成率となっています。

また、歩行中の高齢者の死傷者41人中5人(12.2%)に何らかの原因が認められ、そのうち信号無視と横断歩道外横断がそれぞれ1人(20.0%)、その他違反が3人(60.0%)と多くなっています。

【歩行者の原因】

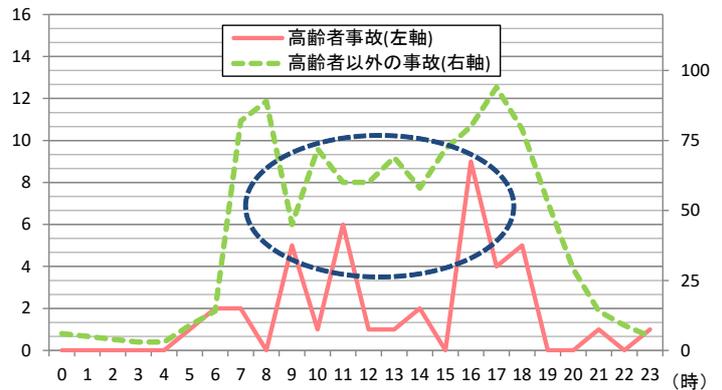


(2) 日中時間帯の発生が多い

昼夜別では、昼間の発生が58.6%(41件中24件)と、他の世代(1,014件中584件、65.8%)と割合はほぼ変わらないものの、他の世代よりも日中時間帯に発生が集中しています。

高齢者以外の事故は朝夕の通勤・通学時間帯に多発し、それ以外の日中時間帯は減少したのに対し、高齢者事故は朝の発生は少なく、9時台から18時台の時間に発生し、16時台がピークとなっています。

【高齢者事故と高齢者以外の事故の発生時間】



4 過去10年間の高齢者事故の発生特徴

(基礎データ平成27年～令和6年)

(1) 状態別では増減しながら減少傾向

状態別で見る死傷者数は全体的に減少傾向にあります。

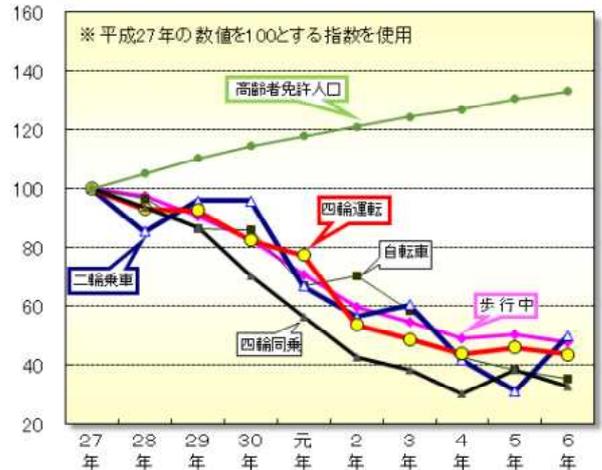
四輪車運転中、四輪車同乗中、自転車乗車中及び歩行中の死傷者数は令和6年は前年より減少しましたが、二輪車乗車中の死傷者は前年より増加しました。

(2) 高齢者事故の月別発生状況

過去10年間の高齢者事故を分析すると、11月以降に多発する傾向にあり、夕暮れ時(日没前後各1時間)に事故が増加する傾向にあります。

高齢歩行者の死亡事故については、日没が早まる頃に増加し、11月がピークとなっています。

【死傷者の状態別推移(指数)】



【高齢者事故の月別発生件数(H27～R6)】

